

Shibaura Machine

回生放電ユニット取扱説明書

このたびは、当社製品“回生放電ユニット”をお買い上げくださいますて、誠にありがとうございました。

この取扱説明書を熟読ご理解頂き、取り扱いに十分注意しながら適切にご使用ください。

この取扱説明書は、後々まで保存をお願いします。

■ 1. 用途

軸本体のモータが減速時に発生する発電エネルギーを回生放電ユニット内の回路で吸収させるものです。負荷イナーシャが許容値を越える場合や発電量が多くなる場合に使用し、コントローラでの過電圧発生を防止します。

■ 2. 仕様

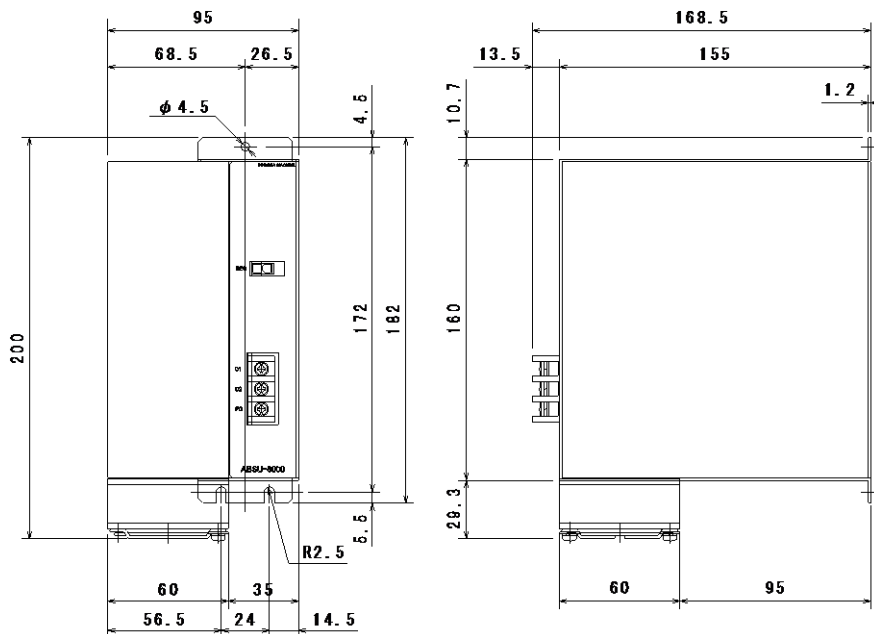
項目	仕様	備考
形式	ABSU-8000	
回生動作電圧	DC421V	
冷却方式	強制空冷方式(冷却ファン使用)	
冷却ファン仕様	DC24V-0.1A リード線:UL STYLE 1007 AWG24 (300mm)	ブラシレスDCモータ
保護機能	放電抵抗温度150°Cで温度リレー動作。 出力接点:1b	接点容量 AC125V/6A AC250V/3A
適用コントローラ	CA25-M80, CA25-S80	750Wコントローラ
周囲条件	設置場所	室内
	使用周囲温度	0~40°C
	使用周囲湿度	30%~90%RH 結露なきこと
	使用周囲雰囲気	腐食性ガスのないこと
	保存周囲温度	-20~70°C
	保存周囲湿度	30%~90%RH 結露なきこと
	保存周囲雰囲気	腐食性ガスのないこと
振動	9.8m/s ² 以下	
外形寸法	95(W)×200(H)×169(D)	冷却ファン含む
質量	2.9kg	

注意

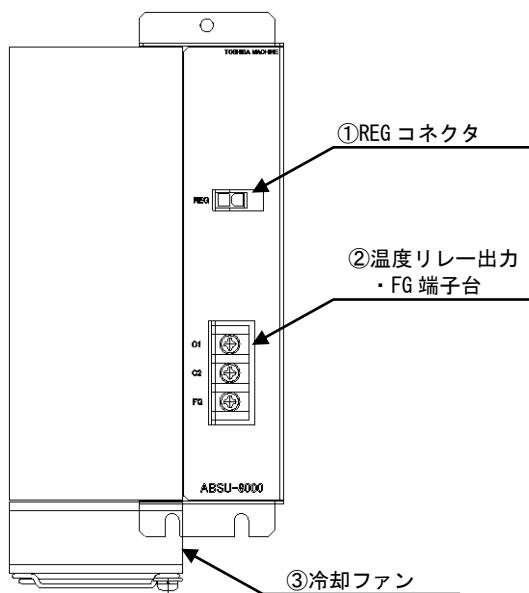
適用コントローラ以外のコントローラを組み合わせて使用した場合、回生放電ユニットは故障したり、動作しない場合があります。

■ 3. 外形寸法と各部の名称

■ 3. 1 外形寸法



■ 3. 2 各部の名称



① REG コネクタ

付属の回生ハーネスを接続します。

② 温度リレー出力・FG 端子台 (M4 ネジ)

・ C1, C2 端子 :

温度リレーの接点を出力します。
内部抵抗加熱を検知すると、C1-C2 間がオープンになります。

・ FG 端子 :

接地してください。

③ 冷却ファン

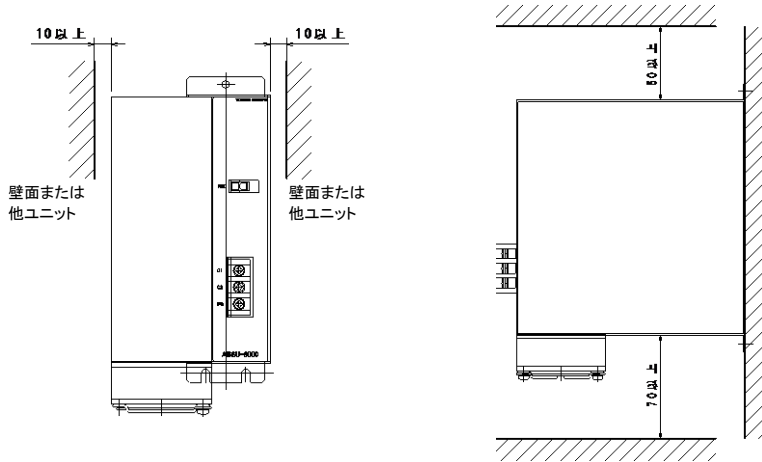
本機を冷却します。リード線に外部より必ず DC24V を供給し稼働してください。

赤 : +24V (0.1A)

黒 : GND

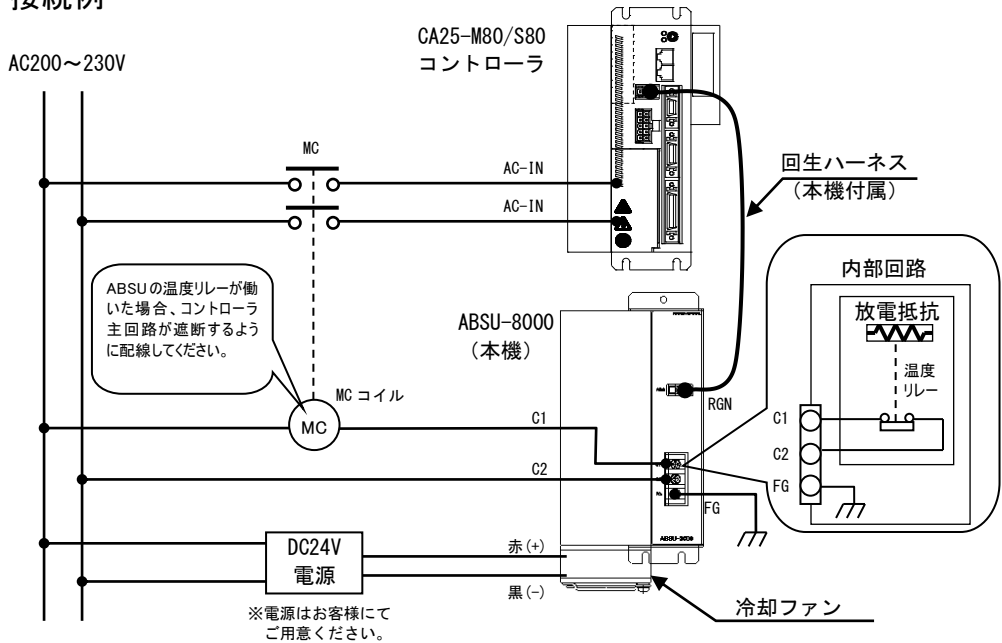
■ 4. 設置

本機は冷却ファンによる強制空冷方式を採用しています。設置の際は必ず縦置きとし、冷却ファンを稼働し、上下の通気孔をふさがないように図中寸法の通りスペースをとってください。通気が不完全ですと十分な性能が発揮できず、また、故障の原因にもなります。使用中、ユニット本体は高温になる場合があります。ユニット本体に隣接する壁面、または他ユニット等には密着させず、両側 10mm 以上の間隔をあけて設置してください。



通気孔から回生放電ユニット内部に、液体、ゴミ等の異物が入らないようにしてください。尚、本機は防塵構造になっておりません。塵埃の多い場所での使用は避けください。

■ 5. 接続例



■ 6. 使用上の注意

- ・本機は適用コントローラと組み合わせてご使用ください。
- ・本機をご使用時は必ず冷却ファンを稼働してください。
- ・回生放電ユニットには、150℃になると動作する温度リレーが内蔵されています。
- ・このリレーが動作すると、回生放電ユニット出力端子C1-C2間がオープンになります。
- ・温度リレー動作時、必ずコントローラが停止するようにシーケンスを組んでください。
- ・温度リレーは一旦動作すると、リセット（正常状態に復帰）するまでに、3分程度必要です。
- ・事故防止のため、配線後は端子台カバーを取り付けてご使用ください。

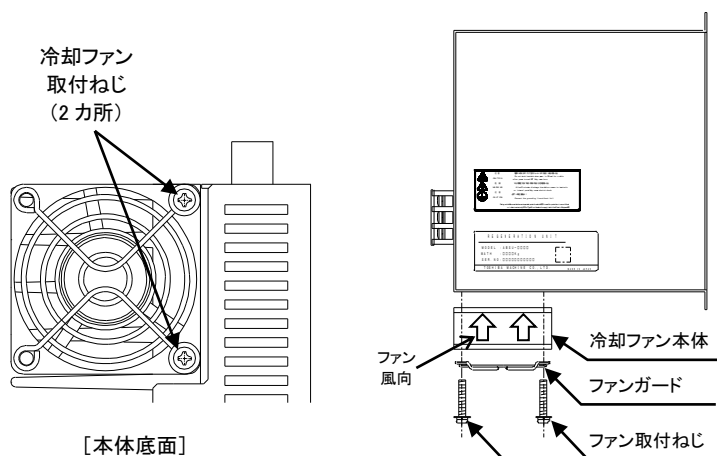
■ 7. 保守

- ・本機の冷却ファンは使用約3年を目安に交換してください。
- ・安全のため、冷却ファン交換作業時は装置の電源をお切りください。
- ・交換用冷却ファンは最寄りの弊社営業所、代理店までお求めください。

部品名	製品コード
冷却ファン	A3831810

・冷却ファン交換方法

下図のように本体底面のファン取付ねじ（2カ所）を取り外し、冷却ファン本体を交換してください。



再組立時は冷却ファンの向きに注意し、ファンガードも忘れずに取り付けてください。
また、リード線の噛み込みに十分ご注意ください。